

冬至出荷は高値安定(直売所 1玉=570円)



プリメララインナップ紹介



プリメラ115 抜群の肥大性 安定多収



プリメラクイーン 抜群の貯蔵性 強粉質で1月出荷

- ・肥大性がよく、収量を上げやすい。
- ・減肥、省力栽培でも多収。
- ・雌花がよくつき、着果も抜群に良く、揃う。
- ・果実の果皮色が濃く、外観・中身とも優れる。



プリメラ115の特徴 抜群の肥大性

プリメラ115は、3.0kg以上の大玉も狙える 豊産種。用途に応じて施肥量・株間などで生 育を調整する。

促成栽培· 青果用	減肥、株間を詰める(株間40cm・ 1本整枝)
加工用	標準施肥。のびのび育てて大玉を 狙う。
抑制栽培	やや減肥、早めの着果で草勢を抑える。

プリメラクイーンの特徴 抜群の貯蔵性

試験データ (2015年、北海道)

品種名	粗反収	11月出庫調査				12月出庫調査
		貯蔵歩 留	固形分	食味評価 (1弱→5強)		貯蔵歩留
	t/10a	(%)	(%)	粉質	甘味	(%)
プリメラクイーン	1.7	96	26	3.5	2	65.0
対照A	1.3	90	21	2.5	3	22.7
対照B	1.5	95	28	3	3	25.9
対照C	1.4	94	28	3.5	3.5	38.9

プリメラクイーンは12月時でも高い貯蔵性を示した

115・クイーンの特徴 草丈の低さ

- プリメラ115とプリメラケインは、一般的な品種より葉柄が短く、 草丈が低くなる。
- そのため、風に強く、葉柄が折れにくい



プリメラシリーズ(食味の違い

品種名	肉質	食味の特徴
フ°リメラ115	粘粉質	粉と粘の間で肉質のバランス良い 熟期をしっかり守るのが大事 意外と日持ちする
フ°リメラクイーン	強粉質	貯蔵性抜群 糖化がはじまると甘みも乗って、 とてもおいしい

(は種期と作型(抑制栽培)

は種時期は定植日から育苗日数(15-20日前後)を計算して決定します。

【**ろ地抑制栽培**】台風のリスクあり。資材経費は少な目 7月20日~8月15日播種、11月中~下旬以降の収穫で、 単価の高い冬至の出荷が可能。

【ハウス抑制栽培(無加温)】空いたハウスで高収益。 8月15日~8月30日播種、12月上旬以降の収穫で、単価の高い冬至~年内以降の出荷が可能。

【ハウス抑制栽培(加温)】後半暖房、被覆資材が必要。 9月1日~9月15日播種、12月中旬以降の収穫で、単 価の高い年明けの出荷が可能。

栽植密度と整枝方法

1 本整枝 畝幅3m×株間40cm (10aあたり850本)



・抑制栽培では、 栽培労力軽減・早期出荷・収量増のために 1本整枝がオススメです。

圃場準備の注意

・前作がカボチャの場合、虫が前作畑から飛来する。<u>なるべく前作の畑から</u>離す。前作のカボチャを早く片づける。





夏場は特にウ リハムシ・ア ブラムシの発 生が多い!

プリメラの施肥設計(抑制栽培は減肥)

【抑制栽培】高温で肥料の吸肥量が高くなるので、**促成栽培の** 30~50%減肥で栽培。必ず有機肥料使用。

■施肥量の目安

品種	草勢	窒素成分	割合(対えびす)
	5=強	Kg/10a	%(えびす100%)
プリメラ115	3.0	5~8	60~100
プリメラクイーン	3.0	6~8	100~120
対照A	3.5	6~8	100
対照B	4.0	8~12	120~140

リン酸は高温で吸収が良くなるため、窒素分と同じでも良い。

元肥の例: N-3~8 P-6~8 K-4~5kg/10a

播種と育苗

従来のポット栽培では、 育苗面積が広く管理が大 変。

根張りの強いプリメラは、セルトレイ育苗が可能。



■経済性の比較

育苗方法	作業性 (対ポット比)	コスト (対ポット比)
12cmポリポット苗定植栽培	100	100
セル若苗定植栽培	36	52

*作業性:労力時間の比較,コスト:培土代の比較

プリメラの根張り



プリメラ



他社 (早生系品種)

プリメラの方が根量が多い

セルトレイ育苗



は種の方法











皮かぶりが約2割発生 × 発芽まばら



発芽・生育に問題なし (生育やや早い。





発芽・生育に問題なし 〇

セルトレイ育苗



セルトレイは発芽ムラが出やすいので、しっかり灌水。

セルトレイ育苗



高温育苗は徒長に注意



徒長苗



良苗

高温期には水のやりすぎに注意。特に、ホース内の水の高温に注意。

セルトレイ育苗



高温時期の低温育苗ポイント

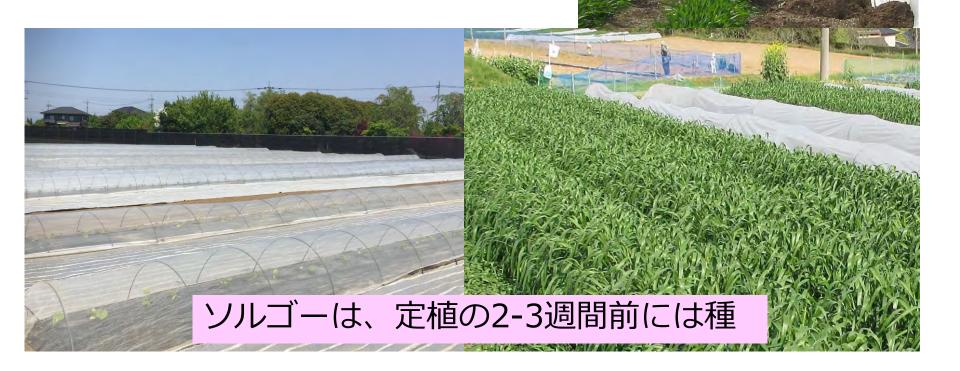
カボチヤ栽培は、苗半作です。

葉2~3枚発生時に花芽の分化が完了します。

- 低温育苗(最低15℃)→ 雌花が多くなる。
- 高設ベンチの利用 → 設備投資を抑える ならコンテナを利用して、風通し良くなる ような育苗床をつくる。
- 打ち水の気化熱で温度降下を
- 遮光資材の利用
- (日中) 灌水の水温に注意。

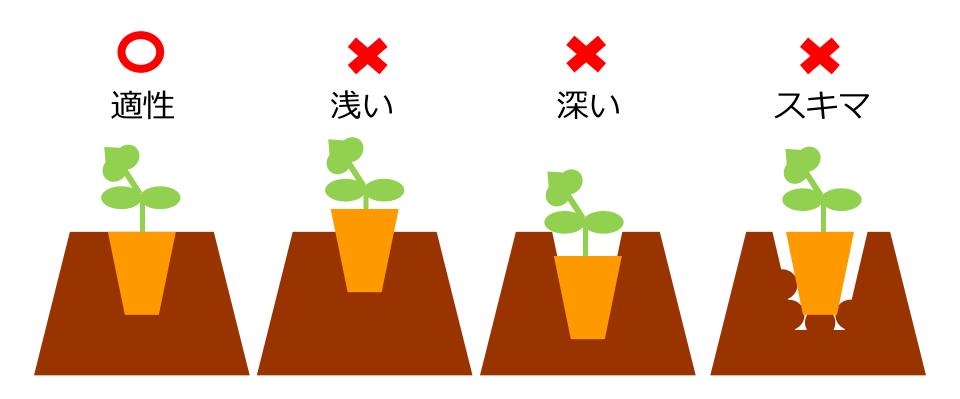
定植時の注意 虫と台風対策

- ・防虫ネットの活用
- ・虫対策に薬剤の植穴施用
- ・台風対策にソルゴー利用



定植の方法

- 植えこむ深さに注意し、スキマのないように定植。
- ・ 定植後4-5日間はしっかり灌水、スムーズな活着を促す。



定植の方法



定植の方法



直播きについて

温度維持が容易な抑制栽培では直播きも選択肢のひとつ。

- ◆直播き時の注意◆
 - ・38℃以上になると夕ネは死にます。
 - ・マルチによる過度の高温に注意
 - ・ 曇天が2日続くタイミングの播種が安心
 - ・催芽→曇天日播種も方法のひとつ
 - ・欠株に備えて<u>予備苗を用意</u>しましょう (全株数の10%分くらい)。

催芽の方法

催芽:少し発芽させておくこと。

- ◆方法◆
- ①30℃くらいのお湯(お風呂の残り湯など)に一晩浸漬
- ②濡れた布などに包んでビニル袋やタッパー等に入れる(乾燥を防ぐ)
- ③25℃に1日保つ
- ④発根を確認し、は種する



整枝方法(雄花を取らない!!)

株元整枝(2回くらい) → 着果後放任 株元に雌花あれば摘果

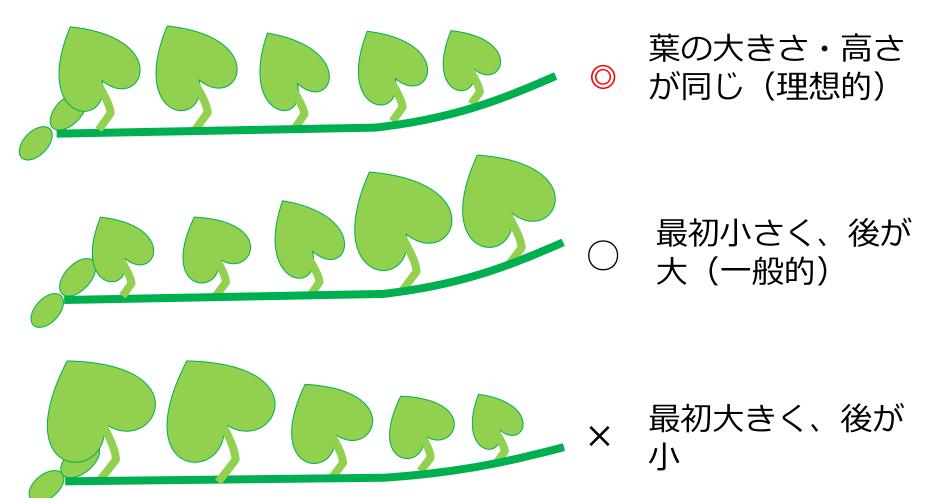




注意:雄花を取らない!!!

草勢の管理・理想的な葉の大きさ

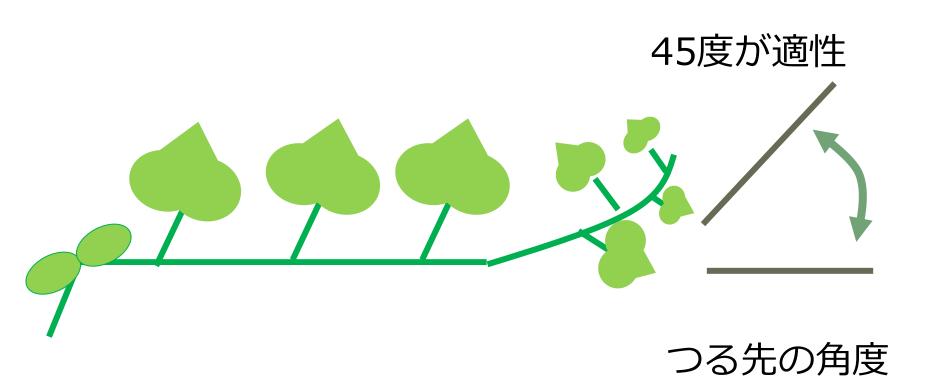
樹勢の判断



理想的な葉の大きさ・草勢



草勢と追肥草勢の判断の仕方



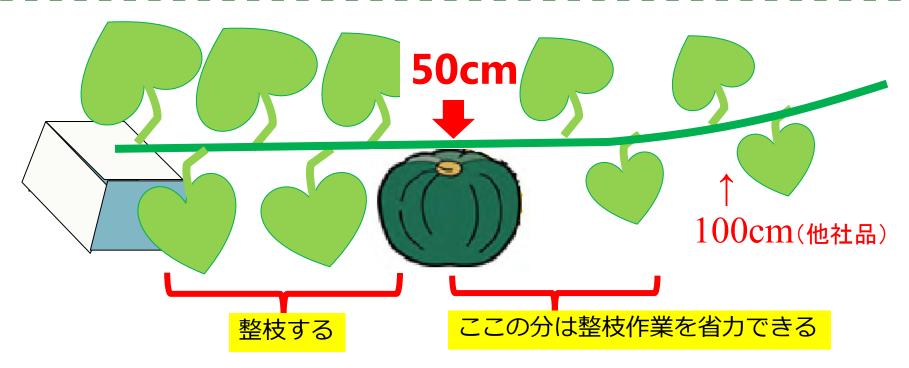
【追肥】

一度に施肥する量は、最大で窒素として2kg/10a未満にする。草勢が強くなりすぎないように注意。 追肥は化成肥料で。緊急時は葉面散布も検討。

草勢の判断



着果節位と整枝



- 株元から50~70cmの位置に着果 (その分の芽かきを省力できる)
- 株元までは整枝を行う
- つる先は放任栽培でも良い (余裕があれば草勢をみて整枝する)

高温期での雌花着花性





プリメラは花粉量が多い!



交配について

露地栽培の場合、基本的に八チが交配してくれます。 ○あると安心ミツバチ箱(17,000円くらい/箱・30a)

ハチの飛来が少ないとき、動きがにぶいとき、 人工交配を併用(♂花1花で♀3-5花くらい着果可)

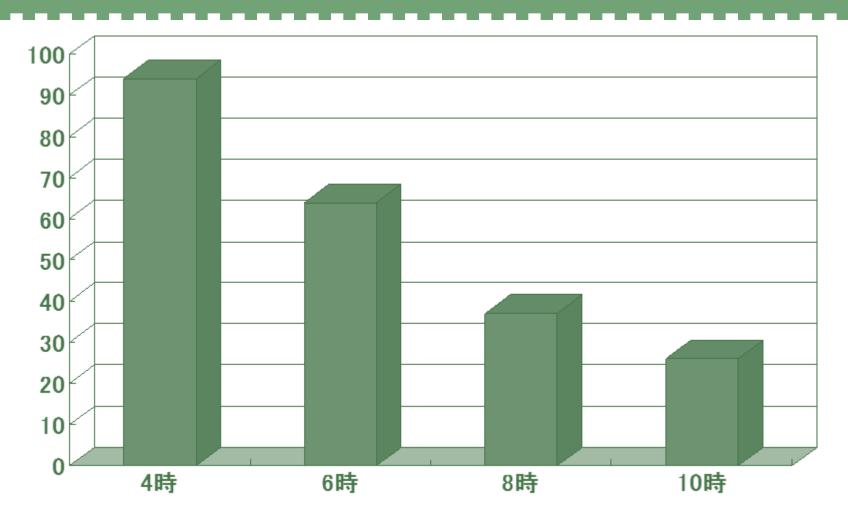
注意:その日咲いた花しか使えない







花粉稔性と着果率について



→早朝ほど、着果率(受精率)が高い!

プリメラの特徴 着果揃い



着果揃い 抜群!

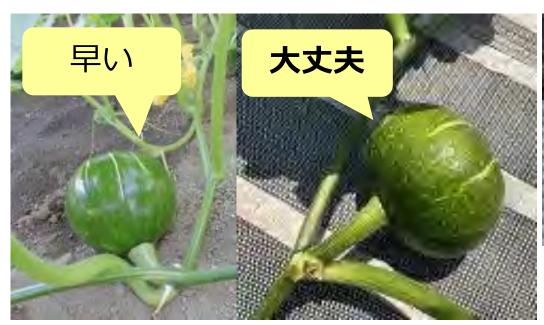
試作した農家さんのコメント 『着果がそろい、作業がしやすくてよかった。 果実の皮の色も濃く、単価も良かった。来年 もぜひ作りたい。』

皿敷きとタイミング

皿敷きで色づきがよくなり、秀品率が上がります

【注意】交配直後につるを動かしたり、刺激を与えると**果実落下の原因**に。果実がある程度肥大してきたタイミングで皿 敷きをしましょう。

「シート」を使う方法もあります(次スライド)





皿敷きとプリメラ



果焼け対策

直射日光が果実にあたると腐敗やクリスタルの原 因となります。早めの対策をお願いします!



うどんこ病



炭そ病・つる枯病(果実腐敗)対策

【栽培中】

- 高畝栽培・排水対策を行う。
- 敷藁から感染することも。<u>果</u> 実を地面から離すようにする。
- 収穫前に適正農薬の散布。

【収穫後】

キュアリングをしっかりする。

【その他】

• 多肥栽培は控え、苦土石灰などでpHを調整する(病害対策は土づくりから!)。



収穫時期の判断

- ・交配日数50日~(積算温度800℃)で試し切り
 ・ 切り ※抑制栽培は急がなくてOK
- 種子の充実度/コルク化50%
- ・果実表面の照りがなくなってくる。





食味重視の直売向け出荷は完熟出荷がおすすめ

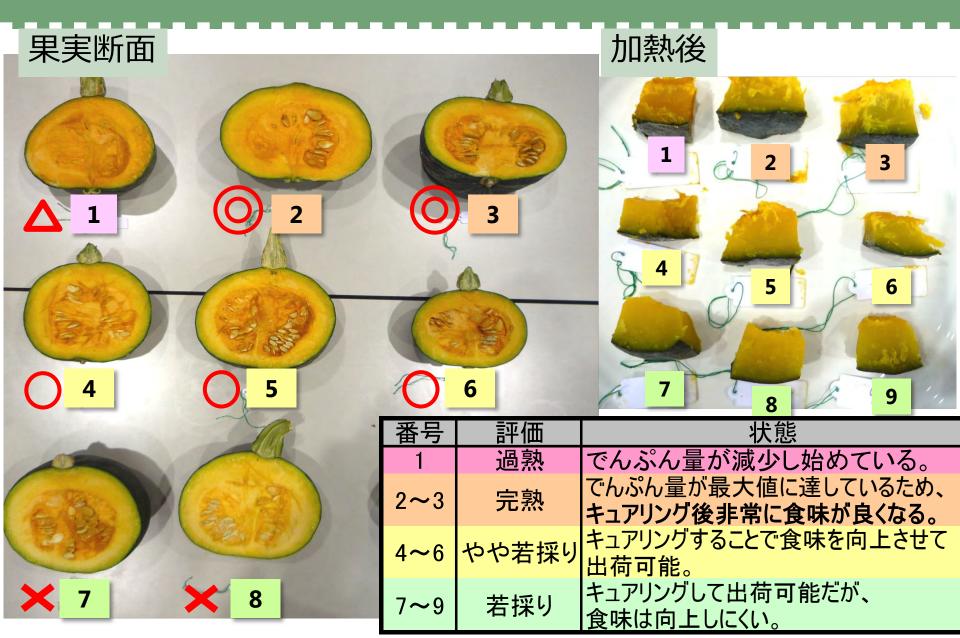
収穫時のポイント

- 果実の水分が減少する午後から行う。
- ・降雨が続く日の収穫はなるべく避ける (つる枯れ病菌による腐敗の防止)





収穫の目安~若どり、ダメ、ゼッタイ~

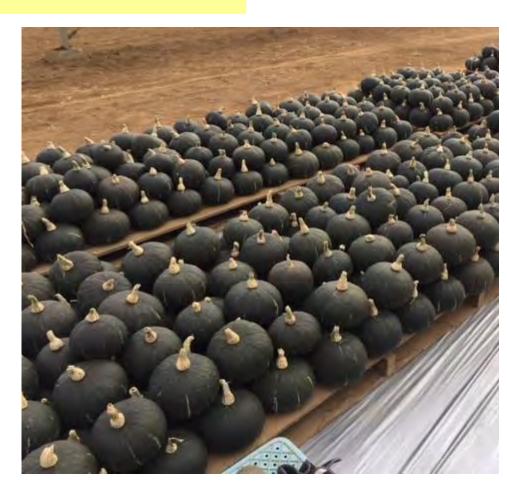


キュアリングと風乾について

キュアリング=一定の温度下で、傷口の修復をさせることと、熟成させ熟度を上げること (追熟)を併せていう。

風乾は、風通しの良いところに保管して、水分をじっくり蒸散させること。

冬至出荷のとき、熟度が 足りない場合は、高温 キュアリングと風乾をし て出荷時期を調整。



キュアリングと風乾について



【効果と方法】

- ・果実の水分を乾燥させ、熟成させてうまみを凝縮する。
- ・カボチャを積みすぎると効果が弱い、また腐敗することもあるので**2~3段とする**。
 - ・扇風機などを使うのも良い。
 - ・低温時期や厳寒期ではシートをかける。
 - ・直射日光が当たらないように。

風乾 -悪い例-



高温キュアリング 出荷を早めたい場合



1日目、ハウスを密閉し35~40度で1時間の加温を行い その後ハウスを開放し十分風を入れ果温を下げます。 2日目、3日目と同作業を3回行います。

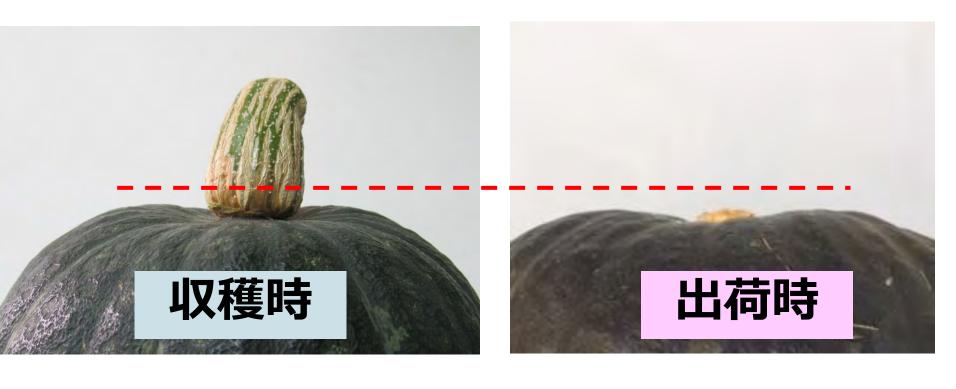
貯蔵の条件

キュアリング・風乾が終われば、貯蔵

- ・温度10℃
- ・湿度70%以下
- ・通気(差圧通風など)
- ・ キュアリングをしつか り行ってから

貯蔵適性には、品種特性の影響も大きい

出荷時のヘタの加工



ヘタを長めに残して果実 内への雑菌の侵入を防ぎ ます。 0.5-1cm残してカットしましょう(※出荷先にも よります)。

プリメラ115の立作り栽培



